

グローバル・ヴィレッジ(GV) 2019 年度 活動報告

【概要】

2019 年は、前年 11 月～12 月に実施した寄付キャンペーンにより実現した助成資金を活用し、3 つのプロジェクトに助成金を送ることができました。また、市民団体や企業のセミナーや学校の授業への講師派遣の依頼をいただくことが増え、13 か所で講演や授業を行いました。一方で、活動を支えてくださる会員の数が減少し、活動経費に充てる収入が減少。ウェブサイト等を通じた情報発信が十分とはいえませんでした。

12 月～2020 年 1 月に、継続支援しているバングラデシュの NGWF(衣料品産業労働者組合連合)を支えるため、オンライン寄付サイト「GiveOne」を通じた寄付キャンペーンを実施し、合計 39 万 3 千円(2019 年度内は 24 万 3 千円)のご寄付をいただくことができました。

また、事務局業務を担っている一般社団法人「日本フェアトレード・フォーラム」では、2019 年中に北海道札幌市と三重県いなべ市をフェアトレードタウンに、北海道の 2 大学をフェアトレード大学に認定するなど、全国のフェアトレード推進活動を後押ししました。

【収入・支出状況】

2019会計報告			
(会計年度1月1日～12月31日)		(単位:円)	
	2018	2019	
収入の部	3,087,316	2,123,679	
会費収入	1,385,000	1,080,000	
寄付金収入	1,348,179	622,115	
啓発活動収入	354,137	421,564	
支出の部	2,510,846	2,148,793	
情報発信	558,671	282,268	
啓発活動費	889,221	538,434	
生産者来日プログラム	139,809	0	
プロジェクト支援	0	477,827	
活動費小計	1,587,701	1,298,529	
人件費	326,400	288,533	
家賃、水道光熱費	362,852	300,000	
手数料	32,984	129,398	
その他事務所諸経費	200,909	132,334	
事務所経費小計	923,145	850,265	
当期収支	576,470	-25,114	
前期繰越	-502,863	73,607	
次期繰越	73,607	48,493	

2019 年の収入は 212 万円で、内訳は会費収入 108 万円、寄付収入 62 万円、講師派遣などによる啓発活動収入 42 万円です。SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて企業や学校からの講演依頼が増え啓発活動の収入は前年より増加したものの、寄付キャンペーンの規模が前年より小規模であったため寄付収入の減少が大きく、収入合計は前年より 31%減少しました。

支出の部では、生産者の能力向上を支援するため 3 つのプロジェクトに合計 54 万円を助成できました。クレジットカードによる会費や寄付の支払いを受け付ける手数料が増加する一方、情報発信などの経費を削減したため、支出の合計額は 215 万円と前年より 14%減少しました。これにより当年収支は 2 万円あまりのマイナスとなり、5 万円弱を次年度に繰り越しました。

【活動報告】

1. 啓発活動

1) 世界フェアトレード・デー

5 月 11 日(土)、GV とピープルツリーは世界から児童労働をなくす活動に取り組む「認定 NPO 法人 ACE」、サステナブルな繊維の普及活動を行う「テキスタイル・エクスチェンジ(TE)」との共催により、「世界フェアトレード・デーに SDGs を考えよう! ～オーガニック&フェアトレードコットンの現場から～」を開催しました。会場となった東京・広尾の聖心グローバルプラザには参加者・出展者など総勢 250 名あまりが集まり、主催 3 団体による講演と、講演者によるパネルトーク、そしてフェアトレードやオーガニックコットン製品の買い物ができるマルシェなど多彩な内容を楽しみました。



(前列右から左)TE 理事・稲垣真哉氏、同代表ラレー・ベッパ氏、ピープルツリー社長ミニー・ジェームズ、GV 代表・胤森なお子、ACE インドプロジェクト・マネージャー田柳優子氏

2) 講師派遣

企業や学校からの依頼を受け、フェアトレードと SDGs をテーマにした講演や、ピープルツリー自由が丘店で毎月開催している「フェアトレードの学校」の講座を再現する「出前授業」を行いました。



- ・大学 6 件
- ・中学校 2 件
- ・企業 3 件
- ・市民団体 1 件
- ・学生団体 1 件

目白大学(東京都)での講義(4月)

3) フェアトレード普及活動の支援

GV は 2017 年より、フェアトレードを推進する団体や個人のネットワーク組織である一般社団法人日本フェアトレード・フォーラム (FTFJ) の事務局を務めています。FTFJ は 2019 年、下記の認定を行いました。

・フェアトレードタウン

北海道札幌市 (6 月)、三重県いなべ市 (9 月)

・フェアトレード大学 (2 校同時、10 月)

札幌学院大学、北星学園大学・北星学園短期大学部

また「フェアトレード全国フォーラム 2019 in Hamamatsu」(11 月) の実施を通じて、フェアトレードタウンやフェアトレード大学を目指す有志の情報交換やネットワーキングを支援しました。



日沖靖・いなべ市長(右前)に認定証を手渡す胤森(左前)

2. 生産者支援活動

1) 助成金の提供

●メル・ハーブ(ケニア)

フルーツとハーブを栽培し加工品の生産販売を行う「メル・ハーブ」の農家が有機認証を取得できるよう支援するため、スタッフ研修の費用を助成。

《送金額》 9 万 8 千円

●フェアトレードグループ・ネパール (FTGN)

フェアトレード生産者 26 団体の連盟である FTGN が主催した職場の安全講習の費用を助成。

《送金額》

14 万 8 千円

怪我人の応急手当の実習→



●バングラデシュ衣料産業労働者連盟 (NGWF)

縫製工場働く女性たちを対象とした職場の安全講習とリーダー養成講座の費用を助成。

《送金額》 11 万円

各プロジェクトの詳細は、ブログ「FAIR TRADE STYLE」に記事を掲載しておりますので、どうぞご覧ください。

<http://ethical.peopletree.co.jp/>

2) ピープルツリー商品の売上に応じた寄付

ピープルツリーと連携し、生産者パートナーが運営する教育や環境保全等のプロジェクトに商品の売上に応じた寄付を送り、活動を支援しました。

※これらの寄付はピープルツリーの売上からの拠出となるため GV の支出には含まれません。

●クムベッシュワール・テクニカル・スクール (KTS) (ネパール)

ピープルツリーにニット製品を届けてくれる KTS が運営する孤児院を支援するため、KTS のファッションアイテム 1 点につき 100 円を寄付。

《送金額》 40 万 4 千円(セーター等 4,044 点分)

●タラ・プロジェクト(インド)

児童労働に従事する子どもたちに教育の機会をつくるためにタラ・プロジェクトが運営している教育センターを支援。タラ・プロジェクトで作られたアクセサリーの売上 100 点ごとに 30USドルを寄付。

《送金額》 11 万 4 千円

(アクセサリー 3,673 点分)



教育センターで配布された文房具を受け取る子どもたち

また、ジュエリー/ファッションブランド「RUKUS by yasuihiro tomita」からのお申し出を受け、RUKUS の商品の売上からご寄付いただいた 12 万 8 千円を合わせて送金しました。

●タナパラ・スワローズ(バングラデシュ)

ウエディング・ドレス 1 着につき 10,000 円を寄付し、スワローズで働く女性たちのための保育所運営を支援。

《送金額》

27 万円(ドレス 27 着分)



お母さんの仕事中、保育ルームで過ごす子どもたち

【2020 年活動計画】

海外の生産者支援を継続する一方、より身近なところからフェアトレードを広めることに力を入れます。GV/ピープルツリーの活動拠点である東京都世田谷区をフェアトレードタウンにすることを目指す「フェアトレードタウン世田谷推進委員会」の一員として、世田谷区内の啓発イベントを企画・開催します。

また、ニーズが高まっている企業や学校向けの講演やセミナーを、さらに積極的に行ないます。

活動を支えてくださる会員やご寄付協力者を増やすため、複数の寄付プラットフォームを活用し、より多くの市民がフェアトレードを知り参加できるきっかけを増やすよう、ブログや SNS を通じた情報発信も強化します。

以上